

沼津西ロータリークラブ



2024～2025 年度・クラブテーマ

「Try It Now」やってみよう

会長 鈴木 和憲 / 幹事 久松 但

第 1517 回 第 34 巻 16 号 2024 年 11 月 14 日

■■本日のプログラム■■

地区大会参加報告 会長・副会長・副幹事 理事会

■11月のプログラム■

11月21日(木)	祝日週休会
1518回 12:30	サッカー大会報告
11月28日(木)	サッカー大会参加者

■12月のプログラム■

12月05日(木)	裁量休会②
1519回 12:30	クラブ協議会② 下期活動計画
12月12日(木)	理事会⑦
1520回 18:30	クリスマス家族例会
12月19日(木)	クラブ管理運営委員会 夜間例会
1521回 12:30	外部卓話 沼津市商工会
12月26日(木)	事務局 原所長 加藤直人氏

例会場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37

アクアガーデン迎賓館沼津

TEL 055-920-5200

事務局 久松会計事務所内

TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600

E-mail: numawestrc@gmail.com

例会日 毎週木曜日 12:30 点鐘

公共イメージ向上委員長 名古 良輔 / 編集者 颯川 ゆう子

出席報告 会員数 21 名

例会	会員数	出席数	出席率
1517 回	20 名	16 名	80%

会長挨拶

● 会長 鈴木 和憲

皆さんこんにちは、今日は日常で使う「大丈夫」という言葉について話をしようと思います。

「寒くない?」「大丈夫」「もっと食べる」「大丈夫」など、「大丈夫」という言葉は日常よく使います。

「丈夫」とは、健康で頑丈なさまを表す言葉として使われますが、やまと言葉で立派な成人男性、勇気があって強い男性のことを益荒男（ますらお）、又は丈夫（大丈夫）と書いて「ますらお」と言ったそうです。

「丈夫」という漢字は、古代中国で成人に達した男性のことを言い、その漢字が日本に伝わり、後に「ますらお」に「丈夫」という漢字が当てはめられたそうです。確かにパソコンで「ますらお」と打つと「益荒男」「丈夫」「大丈夫」と変換されます。そして「ますらお」のなかでも、より立派な男性のことを「大丈夫」と言ったそうです。そこからそのような立派な人が近くにいてくれれば安心だということから現在の「大丈夫」という意味に転じたそうです。

本来「大丈夫」の語源は古代サンスクリット語の「マハー・プルシャ（偉大な男性）」が語源で、頼られて偉大な人という人稱として使われていたそうです。

中国に偉大な存在である菩薩が伝わり、成人した立派な男性「丈夫」と「菩薩」のイメージが重なって、そこに「大」という美称・尊称を付けて菩薩のことを「大丈夫」と呼ぶようになったと言います。

「大丈夫」とは、人々を救うために修行をしている「菩薩」様のことを称する別名ということになります。

先に掲げた「寒くない?」「大丈夫」「もっと食べる?」「大丈夫」は、本来の意味とは間違った使い方ということです。あなたが使っている「大丈夫」は、「大丈夫」ですか？

●欠席者（ 4 名）

久松 但、下原満知子、内田逸美、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

鈴木和憲、久松 但、芹澤貞治、杉山真一、富岡由樹、山田和典（11/10 地区大会）

●スマイル報告

1.地区大会参加者：地区大会2次会の残金です。2.本村文一：所要にて、早退します。

幹事報告

1.他クラブの例会変更等

①沼津 RC

11/22(金) 会場変更 MU：無し

11/29(金) 休会 MU：無し

②沼津北 RC

11/19(火) 休会

MU:11:30-12:30(沼津リバーサイドホテル)

③富士山吉原 RC

11/21(木) 夜間例会 MU：無し

④富士宮 RC

11/15(木) 2RC 合同例会 MU：無し

⑤沼津柿田川 RC

11/27(水) 第4週目のため休会 MU：無し

2.報告・連絡事項

①本日は、例会後理事会がありますので、理事の方は出席をお願いいたします。

②次週は、祝日週休会です。

③2025年6/21-25に、ロータリー国際大会が「カナダ・カルガリー」にて開催されます。参加ご希望の方は、事務局までお知らせください。

理事会報告

1.報告事項

特にありません。

2.協議事項

①12月度例会プログラムの件

クラブ管理運営委員長 杉山真一君

→別紙プログラムにつき、承認

②12/19(木)開催のクリスマス家族例会の件

クラブ管理運営委員長 杉山真一君

→別紙プログラムにつき、承認

・日時：12月19日(木)18:30～

・会場：アクアガーデン迎賓館

③本村文一君、出席免除の件(11月7日より適用)

→承認

地区大会報告



鈴木和憲 会長

今回は、国際ロータリー第2620地区2024-25年度地区大会が、「よりそう奉仕・ロータリー」と題して「社会によりそう奉仕を展開し、ロータリーのマジックを実現しよう」をテーマに11月9日(土)・10日(日)の二日間山梨県甲府市において開催されました。

1日目は、甲府記念日ホテルを会場に地区大会四委員会が午前中に開かれ、地区委員長・副委員長、会長・幹事会が12時受付の13時より開会されました。

まず最初に、服部陽子RI会長代理が大会旗の先導で会場に入場後、小泉ガバナーによる開会の点鐘、国家斉唱・ロータリーソングが合唱されました。その後実行委員長より開会の言葉、小泉ガバナーより服部陽子RI会長代理の紹介、そして来賓・役員の紹介があり、最後に小泉ガバナーの挨拶がありました。

ガバナーの挨拶は、国際ロータリー会長ステファニーA.アーチック氏が掲げたテーマ「The Magic of Rotary(ロータリーのマジック)」の下、私たちは地域社会で小さなマジックからグループ合同奉仕として大きなマジックまで展開させていくため「よりそう奉仕・ロータリー」のスローガンを示し、事業を進め、特に、年度の初めから地区大会までに、地区内全部のクラブ(74ロータリークラブ及び5ローターアクトクラブ)を訪問し、クラブの現状や課題などについて協議を重ね、アーチック会長のテーマ・方針などについて共有できるよう努めてきたことの話がありました。

地区大会の目的は、地区内の会員や地域社会のリーダーが集い、ロータリーへの参加意欲を高め、互いの協力関係を強化し、ロータリーが世界でもたらしているインパクトを紹介することです。

今回、ステファニーA.アーチックRI会長代理として、経験豊富で国際的な視野をお持ちの服部陽子国際ロータリー第2750地区バスタガバナーの紹介、ガバナー補佐、各委員会委員長の紹介とクラブ活動事例の紹介等の挨拶がありました。

次に、RI会長代理の服部陽子氏(東京広尾RC)からのメッセージでは、アーチック会長の掲げる「平和構築」に向けて、「行動計画」の4つの優先事項に沿って行動を起こしましょう！平和構築への道は、人々の心の平安から始ま

り、その心が世の一隅を照らす光となり、沢山の人の奉仕の光が繋がって世界を包む大きな平和の光へと発展していくものと信じます。そして、小泉ガバナーはRI会長のテーマを受けて、「よりそう奉仕・ロータリー」を地区のスローガンに掲げ、「ロータリーのマジックを実現しよう」と呼び掛けています。この大会がインスピレーション溢れる地区大会となることを願っています、と締めくくりました。



杉山真一 副会長

11月9日10日の2日間に及び行われました。甲府西ロータリークラブをホストクラブとして山梨県甲府市 YSC 県民文化ホールを会場として開催されました第 2620 地区 2024-2025 年度地区大会の 2 日目に参加してまいりました。

朝 6:40 に沼津駅北口集合という早朝からの集合でしたので眠たい 1 日の始まりでしたが、当クラブの参加者は前日から参加されていた鈴木会長・久松幹事・芹澤さん・山田さん・富岡さんと私の 6 人で参加してまいりました。

尚、当クラブ 6 人とバスに同乗した沼津柿田川 RC の皆さんも 6 人という参加者で広々とバスには乗って行けましたが、参加人数があまりにも少なく今までで一番寂しい経験でしたので、次年度は是非たくさんの方の参加をお願いしたいと思っています。

まずバスでの移動は、やはり道路状況に左右されてしまうため今回高速で中央高速道甲府南インターチェンジ手前にて単独での横転事故の為、渋滞にはまり前乗りしていた久松幹事からも心配して連絡が来ってしまうほどギリギリでの会場到着で、開会 15 分程度前でしたので会場に入りすぐ着席して点鐘という慌ただしい地区大会の始まりでした事と本会議も RI 会長代理アドレスの気を失ってしまうほどの長さで今年から各表彰事項が細分化され表彰数が増えた事と各活動報告や ROTEX やその他の活動紹介が多く、大分時間が押してこのままではアピオ甲府にて会場を移動して行われる大懇親会の会場に時間通りには入れないのが記念講演の前の時点で感じられ、参加している方が心配になってしまうプログラムの実施状況で、事実、本会議の終了が遅れたこととアピオ甲府までの移動が渋滞にはまり着いた時には大懇親会は始まってしまっていました。

私からは主に、今回の地区大会の記念公演について報告させていただきたいと思っています。

今回の地区大会の中では、元厚生労働事務次官で現在全国社会福祉協議会会長の村木厚子さんによる記念講演【女性がより活躍できる組織・社会を創るために】が開催されました。

現在、社会でご活躍をされていらっしゃる女性の割合は 44.6%と、およそ 30 年前の平成 2 年と比べると 464 万人ほど増加している一方で、管理職に占める女性の割合も依然として少ないままという社会情勢にあります。

女性が働きやすく活躍のできる組織・社会の形成には、今現在の上記に挙げる社会情勢を見直していくという課題がある一方で、行政と企業が連携しながら継続的に問題解決に向けて解決策を見出していくなどの努力を行っていく必要もあります。

今回の記念講演で学ばせて頂いた知識を基とし、女性が働きやすく活躍できる組織・社会づくりのために、私自身も引き続きしっかりと勉強をさせて頂きながら、尽力する事が出来ればよいと心から思っております。

本当に沢山の学びと収穫のあった地区大会でした。この地区大会で得た知識と経験を胸に、引き続き、頑張りたいと思います。



富岡由樹 副幹事

はじめて国際ロータリーの地区大会に参加させていただきました。

地区大会は、ロータリーのメンバーや地域のリーダーが集まり、奉仕活動や地域貢献のアイデアを共有し合う貴重な機会であると認識しました。

地区大会では、著名な講師の講演や専門家によるワークショップが行われます。今回は元厚生労働事務次官の村木厚子氏を迎え企業コンプライアンスの厳格化やライフワークバランスの重要性などについて拝聴し今まさに弊社で起きている問題とリンクして非常に勉強になりました。

ロータリーの基本理念である「奉仕の理想」を見つめ直す良い機会だと思います。大会のプログラムを通じて、ロータリーの歴史や活動の意義を再確認し、自分の活動にも新たなモチベーションを見つけられるかもしれません。

最後に、大会プログラム内にクラブごとの地区大会登録者数、30 年以上 100%出席正会員など興味深い項目もあり、ロータリアンであることの意味を少しだけ知り得たような気がしました。